



**オーシャニアクルーズが 2027-2028 年クルーズコレクションを発表
230 を超える充実した旅程**

**一生に一度の旅先や何度も訪れたいお気に入りの場所にもオーシャニアクルーズ
のくつろぎのラグジュアリー船で究極のラグジュアリーな旅を**



クロアチア、スプリットに停泊するオーシャニア アリユーラ

東京 2025 年 10 月 01 日 - 美食と寄港地の魅力を追求し世界を牽引する[オーシャニアクルーズ](#)が 2027-2028 年クルーズコレクションを発表。230 を超える旅程には世界で最も魅力的なデスティネーションでの没入体験が詰まっています。59 泊でマイアミからシドニーまで行く南太平洋グランドボヤージュや、3 か月をかけてオークランドからローマに至る大冒険(いずれも大人気のオーシャニア ビスタで催行)など、7 隻のくつろぎのラグジュアリー船が 2028 年 4 月までの 1 年強の期間、7 泊から 96 泊のクルーズ日程で 7 大陸を駆け巡ります。予約受付は 2025 年 9 月 17 日にスタートしています。

豊富な経験を駆使して企画された旅程には、だれもが憧れる地中海の海辺を散策し、絵本のような北欧の世界に紛れ、アイスランドのドラマチックな美しさに感動するなどが織り込まれ、まさに珠玉のラインナップです。カリブ海の活気あふれるリズム、アジアと南太平洋の魅惑的な魅力、アラスカの手つかずの雄大さなど、それぞれの寄港地で忘れられない発見が待っています。



2027-2028 年クルーズコレクションには、港での停泊も多く含まれ、ボルドーの荘厳なシャトーで極上ディナーを味わったり、シンガポールの有名なナイトサファリまで足を延ばしたり、ボラボラ島の静かな水上バンガローに滞在したりなど、バケットリストに載るような夢の体験にも十分な時間をとれます。

オーシャニアクルーズのチーフラグジュアリーオフィサー ジェイソン・モンタギューは、「オーシャニアクルーズは、洋上最高の美食という評判とともに、クルーズ業界で最も魅力的で寄港地滞在重視型の旅程を組むことで広く評価されています。2027-2028 年クルーズコレクションは、象徴的な港と魅力的な新しい発見がペアになっていて、旅の達人のお客様にも楽しんでいただけるよう設計されています」と語ります。

2027-2028 年コレクションのハイライト

- **静かな地中海:** オーシャニア アリュールが初の地中海冬シーズンを運航。11 月から 3 月の寒冷であり旅行者が多くない時期に訪れます。港内泊も数多く含まれているため、各寄港地をじっくり楽しめます。ヨーロッパの有名なクリスマスマーケットを含め、この季節ならではの豊かな味わいと伝統を堪能できます。
- **アラスカに再び:** オーシャニア リビエラがアラスカに戻ってきます。7 泊から 11 泊で十数クルーズを実施。シアトル発着の便利な周遊クルーズも多数。アラスカの食探検は、船内 7 か所のレストランだけでなく、テラスカフェで実施のアラスカシェフのマーケットディナーやカリナリーセンターでの実践料理教室などでも。
- **59 泊の南太平洋グランドボヤージュ:** 2027 年 10 月実施のオーシャニア ビスタで行くクルーズ。マイアミを出港してパナマ運河を経由し、ハワイ、フランス領ポリネシア、フィジー、オーストラリアなどを巡ります。飛行機に乗らずにこの地域を探索する究極のスタイルです。
- **96 泊の南太平洋、インド、アラビア、ヨーロッパ グランドボヤージュ:** 複数の大陸にまたがって、多様な文化、息をのむような風景、代表的な都市を存分に探索できる大冒険クルーズ。オーランドを皮切りに、東南アジアの隠れた宝石、エジプトの伝説的モニュメント、地中海の古くからの港などを繋ぎます。オーシャニア ビスタの快適で優雅な船上で過ごす一生に一度のクルーズです。
- **アジアの真髄に:** オーシャニア リビエラとオーシャニア ビスタが、2027 年から 2028 年にかけて、日本、インドネシア、マレーシア、フィリピン、ベトナム、タイの美と伝統に焦点を当てながらアジア全域を巡ります。バンコク、香港、上海、東京のような大都市のエネルギーと、海岸沿いの村や由緒ある古刹での心休まる雰囲気を楽しめることができます。



ヨーロッパ

フレンチリビエラからトルコの沿岸部、ブリテン諸島からグリーンランドやノルウェーのフィヨルドまでなど、これまでで最も幅広いヨーロッパクルーズが勢ぞろい。ローマ、イスタンブール、ダブリン、ストックホルムなどの中心都市だけでなく、ユニークな火山岩の地形、透き通った海、魅力的な村々といった美しい景色で有名なギリシャのミロス島のような人里離れた宝石を発見したり、アイスランドの氷に削られた雪山に囲まれた村・デューピヴォーグルを訪れたりなども。また、きらめくイルミネーションや華やかな装飾で街の広場が魅惑的な光景へと変わるクリスマスや年末年始を地中海で祝うクルーズは、オーシャニアクルーズにとっては初めてのもの。

トロピカルとエキゾチック

カリブ海の熱気に沸く島々からアジアやオーストラリアのエキゾチックな海岸までの広大な範囲にわたるクルーズコレクションです。ジャマイカとアルバの手つかずのビーチを満喫した後は、パナマ運河の驚異の技術を目の当たりに。香港、バンコク、シンガポールなどといった人気の都市ではゆっくりと存分に探索できるよう、港内で 1 泊します。南半球では、仏領ポリネシアやフィジーでは楽園を巡るアイランドホッピングを楽しんだり、シドニーの有名な港からニュージーランドの雄大なフィヨルドに向ったりなども。どの旅程を選んでも、息をのむようなオーシャンビューに縁取られた新鮮な発見が毎日待っています。

北米

アメリカ大陸最後の秘境アラスカの雄大な氷河を過ぎて、そびえ立つ森と陰しい海岸線に囲まれたクラウオックといったトリンギット族の伝統を受け継ぐコミュニティを訪れます。東海岸では、秋らしい鮮やかな色彩に染まるカナダとニューイングランドに。モントリオールやボストンなどの歴史的な都市から近いサグネー・フィヨルド国立公園では自然の驚異に圧倒されます。北米はまた、2027-2028 年には、マイアミからバミューダ諸島やアゾレス諸島の魅力的な海岸を経由してヨーロッパに、またはバンクーバーから太平洋を横断して日本に寄港するなど、壮大な大洋横断の旅のゲートウェイとなります。

オーシャニア インシグニアのフェアウェルツアー

2027 年夏は、同年 11 月の引退を控えたオーシャニア インシグニアでブリテン諸島、北欧沿岸、バルト諸国を探検する最後のチャンスです。フェアウェルシーズンは、モンテカルロ、ベネチア、アテネなどの人気港に加え、ザキントスやボドルムといったあまり知られていない目的地を訪れながら、多くの乗客に愛された船でくつろぎながら、評判の料理、行き届いたサービスを体験します。オーシャニア インシグニアによる最後の思い出クルーズは、イタリアの歴史ある港、チビタベッキアタで幕を閉じます。

地中海の海辺の村々を巡る旅であれ、アジアのコスモポリタンな首都を巡る旅であれ、2027-2028 年のクルーズコレクションでは、オーシャニアクルーズのラグジュアリー小型船の特徴である卓越した快適性とスタイルが約束されます。顧客のニーズに応じたきめ細やかなサービス、充実したアメニティ、そして洋



上最高の美食が、さりげなくエレガントな雰囲気の中で一体となり、充実感に満たされた思い出に残るくつろぎの船上体験をもたらします。

ラグジュアリークルーズのベストバリュー

今回発表された一連の旅程に加え、オーシャニアクルーズでは、すべての乗客対象の特典サービスが様々に用意され、各クルーズの価値を高めています。洋上でワインを飲みながらのくつろぎを重視するのなら、無料のグラスワインとビールを選べます。ランチタイムとディナータイムに、スパークリング、赤、白、ロゼのワインや、世界各国のビールなど、数十種類ものセクションが用意されています。また、寄港地の豊かな文化や料理、歴史探訪に興味があれば、少人数制没入型ツアーや、世界各地で行われるオーダーメイドのプライベートツアーに利用できる寄港地観光クレジットを選ぶこともできます。

オーシャニアクルーズのクルーズ料金には、無料のスペシャリティダイニング、無制限の Wi-Fi 接続、船上チップなどのアメニティが常に含まれていますが、さらに、ベストバリュー保証により、予約した時期がキャンペーン時如何にかかわらず、クルーズ毎に提供される最大級のサービスが保証されます。

オーシャニアクルーズのラグジュアリー小型船、絶品の料理、考え抜かれた旅行体験の詳細については <https://jp.oceaniacruises.com> で。

オーシャニアクルーズについて

オーシャニアクルーズは洋上最高の美食と寄港地の魅力を追求する世界屈指のクルーズラインです。最大乗客定員 1,250 名、全 8 隻のラグジュアリーな小型客船が洋上最高の料理と地球規模の豊富な寄港地体験を提供しています。優れたデザイン性とくつろぎに満ちた客船による考え抜かれた旅行体験で、7 大陸 100 か国以上の 600 を超える主要港から小さな港までを 7 泊から 200 泊余りをかけて巡ります。ソナタクラス船を 4 隻発注済みで、引き渡し予定は、それぞれ 2027 年、2029 年、2032 年、2035 年の予定[1]。オーシャニアクルーズはノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングス(NYSE: NCLH)の完全子会社です。詳細は www.nclhltd.com

[1] 引き渡し年はすべて予定であり、変更される場合があります。

画像提供はオーシャニアクルーズ

【発行元】オーシャニアクルーズ PR 株式会社フレア